九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[39] 芸術工学研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/7170261

出版情報：芸術工学研究. 39, 2024-03-11. 九州大学大学院芸術工学研究院
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

芸術工学研究

投稿要領／論文ひな形

『芸術工学研究』九州大学大学院芸術工学研究院紀要
投稿要領

（平成15年10月１日制定、平成20年７月10日一部改正、平成21年５月29日一部改正、
平成23年９月20日一部改正、平成25年１月11日一部改正、平成26年12月17日一部改正、
平成28年10月26日一部改正、平成29年４月１日一部改正、平成30年４月１日一部改正、
令和３年４月21日一部改正、令和４年６月15日一部改正、令和５年４月19日一部改正）

１．投稿者

投稿者（共著の場合少なくとも１名）は、本研究院の教職員（学術研究員、教務・技術・事務職員を含む）、訪問研究員[i]、本学府学生、本学の客員教員、非常勤講師および紀要編集ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）が依頼した者とする。ただし、本学府学生の場合、博士後期課程の学生は投稿に際し指導教員の同意を必要とする。また、修士課程の学生は、本研究院の教職員との連名の場合のみ、投稿を許可される。

２．掲載記事および記事の区分

掲載記事は、英文あるいは和文で書かれたものとし、性質により、以下のように区分する。ただし、ワーキンググループの判断により一時的に新しい区分を設けることができる。

2-1. 研究論文
独創的な結果、考察あるいは結論等を含むものとする。

2-2. 作品（または、「作品解説」）
作品（演奏・上演等も含む）に関する紹介と解説とする。

2-3. 評論
学説、著作および作品・演奏その他に関する論評および科学的技術的あるいは社会的文化的事柄に関する論評とする。

2-4. 研究報告
研究論文に準じる研究成果を含むが、論文と同等の完結を要求されない自由度を有する形態のものとする。

2-5. 社会実装
社会貢献、社会実装、デザイン実践、産官学連携、その他研究・教育活動とする。

2-6. 資料
実験、調査、その他研究・教育資料とする。

2-7. 記録
芸術工学部局の研究・教育活動に係る記録とする。

2-8. コメント
芸術工学に関するテーマに対して著者の意見（opinion）、解釈（commentary）や展望（perspective）を論じるものとする。

2-9. その他
上記のひとつに明確に区分されない事項とする。

３．掲載記事１編の長さ

図表、英文アブストラクト、その他を含めて、原則として、刷り上り 20 ページ以内とする。

4．原稿の書式等

作成にあたっては、別紙の「原稿作成・投稿要領」を参照し、所定の書式に従うこととする。

5．推薦人

投稿する際には、2 名の推薦人を必要とする。推薦人は本研究院の教員（特定プロジェクト教員は除く）に限る。投稿者は推薦人に入れない。推薦人は記事の内容が掲載にふさわしいか否かを判断し、ふさわしいと判断した時に推薦する。ふさわしくないと判断した時には推薦をしない。推薦人は投稿者に対し記事内容の修正を要求することはできない。

6．投稿記事の掲載および受理日について

6-1. ワーキンググループが投稿者から原稿を受け付けた日を当該原稿の受付日とする。

6-2. 投稿記事は、ワーキンググループによる確認を経て掲載される。

6-3. 本誌に掲載された記事についての責任は著者が負う。

6-4. ワーキンググループにおいて記事の掲載を決定した日を当該原稿の受理日とする。

7．著作権

7-1. 2 条で挙げた研究論文等の著作権は、その投稿者が保持する。

7-2. 研究論文等の投稿者は、芸術工学研究院に対して、あらゆる利用行為を許諾する。ただし、この許諾は、投稿者の著作者人格権に影響を及ぼすものではない。

7-3. 前項の許諾は、投稿が受理された時点で行われたものとする。

7-4. 研究論文等における既存の著作物の利用（引用・転載等）に関し権利者との間に生じた紛争については、投稿者がその任に当たる。

8．速報版の公開

受理された研究論文等は、原則として芸術工学研究院 Web サイト上にて速報版として公開する。

9．九州大学学術情報リポジトリへの登録

紀要に掲載された研究論文等は、投稿者の承諾を経て、九州大学学術情報リポジトリに登録する。

---

[i] 一訪問期間が少なくとも一年であり、本研究院での研究期間が半年以上経過している方

「芸術工学研究」原稿作成・投稿要領

（平成21年11月19日制定、平成22年11月30日一部改正、平成29年４月１日一部改正、
令和２年12月16日一部改正、令和５年６月14日一部改正）

本文書式

・投稿原稿、著者版下はテンプレートファイルを使用して作成する。

図版

・画像、表などの線画等、全ての図版データを、著者が各自で版下原稿本文内にレイアウトする。

投稿時の提出形式・方法

下記①～④の電子データを紀要編集ワーキンググループのメールアドレス宛（kiyou-ml@design.kyushu-u.ac.jp）に送信すること。
なお、推薦者２名と共著者及び指導教員（学術研究員または学生の場合）のメールアドレスをCCに入力して送信すること。

① 投稿添付用紙
② 推薦書　２部
③ 版下原稿ファイル（ファイル形式：Word、InDesign など）
④ レイアウト確認用版下原稿 PDF ファイル

問い合わせ

九州大学大学院芸術工学研究院 紀要編集ワーキンググループ
〒815-8540 福岡県福岡市南区塩原 4-9-1
kiyou-ml@design.kyushu-u.ac.jp

「芸術工学研究」論文ひな形

研究論文

（※掲載決定後に編集ＷＧで記載）
受付日：20**年**月**日、受理日：20**年**月**日

和文タイトル

和文サブタイトル

Title

Sub-Title

（単語の頭文字は大文字で統一すること。　例：The Study of Art and Design….）

九大花子 [1]　芸工二郎 [2]　大橋三郎 [3]
KYUDAI Hanako　GEIKO Jiro　OHASHI Saburo

著者名：【フォント】和文：明朝体，英文：Times
【サイズ】　10 ポイント

Abstract
著者抄録
【フォント】ローマン体（Times 等）
【サイズ】10 ポイント【行送り】12 ポイント
150〜200 語を目安に，改行無し（1 パラグラフ）で記述する。上記の目安を超える場合にも，「著者情報および連絡先」と併せて必ず左の段に納めること。
また，一人称代名詞は極力使用しないこと。
本文が英文の場合は和文（明朝体，9 ポイント）の抄録とする。

著者情報および連絡先の記載方法について

1 著書情報および連絡先は，1 ページ目，左段の Abstract の下に表記するものとし，左右の段の最下行が，ほぼ同じ位置となるように割り付けること。
2 1 行目の行頭は本文が和文の場合は，「連絡先：」（英文の場合は「Corresponding Author:」）とし，連絡先となる著者の氏名（本文が和文の場合は和文，英文の場合は英文），その後に電子メールのアドレスを記載する。
3 次行以降は，著者番号順に著者の所属を，本文が和文の場合は和文・英文の順（英文の場合は英文・和文の順）に記載する。ただし，所属が同じ場合は同じ番号とし，非常勤講師の場合は，九州大学非常勤講師の後にセミコロン（;）を置き，本務の所属を併記すること。
4 芸術工学研究院，芸術工学府，芸術工学部に所属する者は別紙著者情報一覧を参考とすること。
5【フォント】和文：明朝体，英文：Times　【サイズ】7 ポイント
【行送り】12 ポイント　【字下げ】2 行目以降は，半角 2 文字分の字下げをする。

連絡先：九大花子，hanako@design.kyushu-u.ac.jp
1 九州大学大学院芸術工学研究院ストラテジックデザイン部門
Department of Strategic Design, Faculty of Design, Kyushu University
2 九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻環境設計コース
Environmental Design Course, Department of Design, Graduate School of Design, Kyushu University
3 九州大学非常勤講師;○○会社××研究所
Part-time Lecturer, Kyushu University; ***** Institute, ***** Corporation

1. 大見出し：【フォント】ゴシック【サイズ】9 ポイント【行送り】16 ポイント

本文は，
【フォント】明朝体□□□□□□□□□□□□□□□□□□
【サイズ】9 ポイント□□□□□□□□□□□□□□□□□
【行送り】16 ポイント□□□□□□□□□□□□□□□□
【1 行文字数】25 文字詰め□□□□□□□□□□□□□□
【一段落の行数】43 行□□□□□□□□□□□□□□□□
【スタイル】標準
を用いる。

新しい段落は，このように 1 コマ空けてから書く。文章の区切りには，読点としてカンマ“,”を，句点として丸“。”を用いる（括弧を付して補足説明する場合は，この例のように本文の句読点の前に括弧を挿入し，括弧内の文章の最後には句読点を付けない）。

注，文献番号は，[1), 2)] または [3)〜8)] のように上付文字で書く。

1.1. 小見出し：ゴシック，9 ポイント

□□□。

□□。

2. マージンについて

ページの余白は以下のとおりとする。

【１ページ目上部】本文上端から用紙上部まで 105mm
【２ページ目以降上部】25mm□□□□□□□□□□□□
【左右のマージン】それぞれ 20mm□□□□□□□□□□
【段組の間隔】10mm□□□□□□□□□□□□□□□□
【段組左右の行幅】それぞれ約 80mm□□□□□□□□□
【下端マージン】30mm□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

3. 図表

本文と図表の間は，1 行以上空ける。また，次ページの見本のように，図番・図名は図の真下中央に，表番・表名は表の真上中央に配置する。

図名，表名は，日本語で記述し，図番および表番はそれぞれ，図 1，表 1 のように通し番号としてゴシック体で書く。本文で引用するときは，図 1，表 1,・・・とする。

図表はキャプションと一緒にテキストボックス内に挿入すると，割付けが容易である。

4. 両段にまたがる図表

図，表または式が 1 段に収まらない場合は，2 段にまたがってよいが，この場合は当該ページの最下段あるいは最上段に配置し，本文が図表等によって中断されないようにする。

図 1 キャプションは邦文：ゴシック，英文：
Times の 8 ポイント, 行送りは 12 ポイント,
2 行目以降字下げ

5. おわりに

最後のページの左右の段の最下行は，ほぼ同じ位置となるように割り付けること。

注

1) 【フォント】邦文：明朝体，英文：Times
2) 【サイズ】7 ポイント
3) 【行送り】12 ポイント
4) 【字下げ】複数行にわたる場合は，2 行目以降，半角三文字分の字下げをする。

参考文献

1) 【フォント】邦文：明朝体，英文：Times
2) 【サイズ】7 ポイント
3) 【行送り】12 ポイント
4) 著者，表題，出版社（雑誌名），発行年，発行巻号数，ページの順に表記する。
5) 【字下げ】複数行にわたる場合は，2 行目以降，半角三文字分の字下げをする。

※「注」と「参考文献」の両方が混在する場合は，注ではアスタリスク（*1, *2…）を用い，本文中で参考文献との違いを明確にすること。